新時代
No.206
5月21日
民主主義学生同盟
市大支部 機関紙

クラス・学科を排除する21学大を許さず

5/22 狭山公判闘争参加団結団支援集会
23 日教組連帯 新大管法粉砕
講演集会へクラス決議を集中せよ

クラス・学科・ゼミから、"日教組連帯、新大管法制定策動粉砕、狭山闘争勝利"への運動が、前へ拡大している。

政府自民党の教育反動攻撃は、自民党参院選公約で、教師の政治活動、高校教育を断固排除するべくとして、日教組執行部の大量処分強行と弾圧を極めている。これに抗して、朝一時間早く上で日教組は起ち上がる5月23日には、同時に狭山差別裁判第75回公判が行われ、部落解放同盟を中心に3万人の大衆が、東京日比谷に結集せんとしている。

かかる5月23日をめぐる情勢は、我々学生にも決起を促している。既に、文学部教育学科での"狭山、大管法の決議"、T五B、H五Hのクラス決議はからとられ、昨日は、経済学部での合同討論が開けれ、クラス、学科での学習会、討論会と、その輪は益々拡大している。そして、今こそこの流れを、ひとつの大きな流れへと高め、全国的闘いへと組織することが要請されている。

とりわけ、この間、一貫して狭山闘争を担ってきた狭山実行委の、22狭山公判参加団結団支援集会、23日日教組連帯、新大管法粉砕狭山闘争連帯に向けた学友集会は準備されている。全ての学友諸君。学友は統一を要求した今、22・23日にクラスの闘いを結集させていこう。

クラス、学科からの闘いを排除するNAし、阻止共闘、全学斗の21学大を許さず、22～23日に統一した闘いを断固組織しよう。

21学大を提起する全国社研は、"狭山公判闘争勝利、大管法粉砕闘争"のスローガンの下に全学の統一学大の成功を呼びかけたにも関わらず、クラス、学科、ゼミからの闘いに対して、"意味不明確"だとして排除し、実質的には、統一学大への努力を放棄するに至った。

我々は、クラス、学科、ゼミを基礎とする全学の学友の中にこそ闘うエネルギーがあることを確信している。学友諸君。運動の統一と発展の方向を放棄し、クラス学友を排除する21学大を、その私物化を断固許さず、今こそ統一した闘いを組織していこう。

。官憲権力の日教組解体、一斉検挙策動断固抗議。
。5・23日教組早朝一時間スト断固支持。
。臨時措置法即時廃棄。
。新大管法制定策動粉砕。
。22狭山公判闘争勝利。
。石川青年は無罪だ、
[illegible]差別裁判を粉砕せよ。